



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 クボテック株式会社
コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 柿下尚武

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,444	156.6	347	—	329	—	285	—
22年3月期第3四半期	1,342	△57.3	△479	—	△510	—	△532	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	2,070.11	—
22年3月期第3四半期	△3,866.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	5,998	1,806	30.1	13,118.31
22年3月期	5,559	1,502	27.0	10,916.60

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,806百万円 22年3月期 1,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	88.2	330	—	310	—	300	—	2,178.97

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 138,300株 22年3月期 138,300株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 620株 22年3月期 620株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 137,680株 22年3月期3Q 137,680株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	2
2.	その他の情報	3
(1)	重要な子会社の異動の概要	3
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4)	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書	6
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4)	継続企業の前提に関する注記	8
(5)	セグメント情報	8
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4.	補足情報	11
(1)	生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、景気回復を支える海外経済の減速や景気刺激策の効果一巡などの懸念材料を抱えるものの、緩やかな回復が続いております。

液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ（FPD）の分野におきましては、携帯情報端末等の需要増加などを見込み、FPDメーカーの設備投資動向は堅調に推移してきております。このような環境の中、当社グループは、製品開発の推進、積極的な受注活動、継続的なコスト削減に取り組みました。当第3四半期連結累計期間の連結業績は、画像処理外観検査装置の販売増加から、売上高3,444百万円（前年同期比156.6%増）、営業利益347百万円（前年同期は営業損失479百万円）、経常利益329百万円（前年同期は経常損失510百万円）、四半期純利益285百万円（前年同期は四半期純損失532百万円）となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

日本では主に画像処理外観検査装置、3DCADシステム、ネットワーク機器等の開発、製造、販売を行っております。FPDメーカーによる検査装置の引合いが増加し、受注、販売を着実に伸ばした結果、売上高は3,107百万円、セグメント利益は333百万円となりました。

米国では主に3DCADシステムの開発、製造、販売を行っております。3Dモデル検証ツール「Validation Tool」を中心に新規受注に向けた営業活動に注力しましたが、販売は伸び悩みました。この結果、売上高は158百万円となり、販売促進にかかる経費増加などからセグメント損失は48百万円となりました。

その他には韓国現地法人の事業活動を含み、画像処理外観検査装置の部品販売、保守業務を行っております。韓国における売上が順調に推移した結果、売上高は178百万円、セグメント利益は21百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ439百万円増加しました。流動資産は現金預金の増加1,053百万円、たな卸資産の減少54百万円、売上債権の減少663百万円などから446百万円増加し、固定資産は有形固定資産の減価償却などによる減少37百万円、無形固定資産のソフトウェア取得などによる増加8百万円、関係会社出資金の増加16百万円などにより7百万円減少しております。

負債は、前連結会計年度末に比べ136百万円増加しました。流動負債は仕入債務の増加261百万円、短期借入金の減少367百万円などから145百万円減少しましたが、固定負債は長期借入金の増加279百万円などにより、282百万円増加しております。

純資産は、四半期純利益285百万円の計上などにより303百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月29日発表の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、洗替え法により簿価切下げを行う方法によっております。

② 原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦は年度決算と比較して簡便な方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して、算定する方法によっております。

④ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

⑤ 退職給付引当金並びに退職給付費用

期首に算定した年間の退職給付費用を期間按分した額を計上する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,472,905	1,419,379
受取手形及び売掛金	551,100	1,214,759
商品及び製品	57,883	2,855
仕掛品	577,594	607,123
原材料及び貯蔵品	285,047	364,802
その他	40,033	34,483
貸倒引当金	△52,662	△157,933
流動資産合計	3,931,903	3,485,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	544,274	566,193
土地	1,117,578	1,117,578
その他(純額)	77,810	93,088
有形固定資産合計	1,739,663	1,776,860
無形固定資産		
のれん	81,666	96,666
ソフトウェア	160,888	136,958
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	244,840	235,910
投資その他の資産		
その他	187,101	80,521
貸倒引当金	△105,048	△19,572
投資その他の資産合計	82,053	60,949
固定資産合計	2,066,556	2,073,720
資産合計	5,998,460	5,559,191
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	962,036	700,316
短期借入金	1,954,000	2,321,000
未払法人税等	54,429	6,218
その他	278,836	367,695
流動負債合計	3,249,303	3,395,229
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	794,000	515,000
繰延税金負債	413	—
退職給付引当金	41,765	38,250
その他	6,849	7,712
固定負債合計	943,027	660,963
負債合計	4,192,331	4,056,192

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△117,361	△402,373
自己株式	△81,658	△81,658
株主資本合計	1,752,730	1,467,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	595	1,798
為替換算調整勘定	52,803	33,481
評価・換算差額等合計	53,398	35,279
純資産合計	1,806,129	1,502,998
負債純資産合計	5,998,460	5,559,191

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,342,325	3,444,966
売上原価	1,023,496	2,311,859
売上総利益	318,829	1,133,106
販売費及び一般管理費	798,560	785,726
営業利益又は営業損失(△)	△479,731	347,380
営業外収益		
受取利息	366	272
受取配当金	39	74
受取賃貸料	8,928	8,605
為替差益	1,404	1,495
その他	310	113
営業外収益合計	11,048	10,561
営業外費用		
支払利息	35,204	28,375
社債発行費	6,583	—
その他	—	186
営業外費用合計	41,787	28,561
経常利益又は経常損失(△)	△510,470	329,379
特別利益		
固定資産売却益	—	9,523
過年度保証金償却戻入額	1,031	—
その他	—	1,565
特別利益合計	1,031	11,089
特別損失		
固定資産除却損	52	4,117
特別損失合計	52	4,117
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△509,491	336,351
法人税等	22,907	51,338
少数株主損益調整前四半期純利益	—	285,012
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△532,398	285,012

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△509,491	336,351
減価償却費	232,632	178,181
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,548	△19,367
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,683	3,515
受取利息及び受取配当金	△405	△347
支払利息	35,204	28,375
為替差損益(△は益)	328	△194
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△9,523
有形固定資産除却損	52	4,117
売上債権の増減額(△は増加)	740,652	568,710
たな卸資産の増減額(△は増加)	△118,391	49,854
仕入債務の増減額(△は減少)	△611,354	259,695
未収消費税等の増減額(△は増加)	△9,194	△476
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,919	△39
その他	73,520	△63,552
小計	△198,133	1,335,301
利息及び配当金の受取額	277	280
利息の支払額	△40,405	△26,197
法人税等の支払額	△27,975	△4,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	△266,237	1,304,503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,470
投資有価証券の取得による支出	△1,831	△1,869
有形固定資産の取得による支出	△2,371	△9,864
有形固定資産の売却による収入	2	10,038
無形固定資産の取得による支出	—	△1,334
ソフトウェアの取得による支出	△133,471	△137,323
子会社出資金の取得による支出	—	△16,311
その他	1,162	△2,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,511	△160,802
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	△800,000
長期借入れによる収入	500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△166,000	△288,000
社債の発行による収入	93,416	—
その他	△1,523	△1,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	475,893	△89,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	△436	△2,111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,708	1,051,989
現金及び現金同等物の期首残高	1,347,735	1,326,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,420,443	2,378,710

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	検査機 システム事業	創造エンジ アリング事業	メディア ネット事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	811,785	280,942	249,597	1,342,325	—	1,342,325
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	811,785	280,942	249,597	1,342,325	—	1,342,325
営業損失(△)	△62,189	△210,173	△46,264	△318,626	(161,104)	△479,731

- (注) 1. 事業区分は、製品の種類別区分によっております。
 2. 各区分に属する主要な製品
 (1) 検査機システム事業・・・画像処理外観検査装置、ライン観察・監視・管理システム
 (2) 創造エンジニアリング事業・・・2D/3D対応CAD/CAM、3D計測モデラー、高速3D出力システム
 (3) メディアネット事業・・・遠隔監視・映像配信システム、映像ネットワーク配信システム

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	日本	北米	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,152,748	189,577	1,342,325	—	1,342,325
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,239	9,857	28,097	(28,097)	—
計	1,170,987	199,435	1,370,423	(28,097)	1,342,325
営業損失(△)	△310,632	△39,609	△350,242	(129,489)	△479,731

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 北米・・・・・・・・米国

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	米州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	503,482	186,754	14,653	704,890
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,342,325
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	37.5	13.9	1.1	52.5

- (注)1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
 アジア・・・・・・・・台湾、韓国、中国
 米州・・・・・・・・米国
 その他・・・・・・・・ヨーロッパ
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
4. 前第3四半期連結累計期間において、「その他の地域」に含めて表示しておりました「米州」は、当第3四半期連結累計期間において連結売上高の10%以上となったので区分掲記することに変更いたしました。
 なお、前第3四半期連結累計期間の「その他の地域」に含まれる「米州」の海外売上高は228,229千円、連結売上高に占める海外売上高の割合は7.3%であります。
5. 従来、北米を含む米州に対する売上高を「北米」として表示しておりましたが、より正確な表示にするため、当第3四半期連結累計期間より表示を「米州」と変更しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、画像処理外観検査装置の他、3DCADシステム及びネットワーク機器を生産・販売しております。主な生産活動は当社が担当し、販売活動のうち、国内とアジア地域においては当社が、米州においては米国子会社が担当しております。

海外子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,107,320	158,843	3,266,164	178,802	3,444,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,630	9,088	125,718	27,316	153,034
計	3,223,950	167,931	3,391,882	206,118	3,598,000
セグメント利益又は損失(△)	333,530	△48,935	284,595	21,588	306,183

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、韓国の現地法人の事業活動を含んでいます。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	284,595
「その他」の区分の利益	21,588
セグメント間取引消去	5,491
その他	35,705
四半期連結損益計算書の営業利益	347,380

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
日本	3,081,903	—
米国	159,302	—
その他	233,513	—
合計	3,474,718	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 金額は、販売価格によっております。
3 金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
日本	2,546,053	—	2,427,900	—
その他	226,494	—	47,692	—
合計	2,772,547	—	2,475,592	—

- (注) 1 金額には、消費税等は含まれておりません。
2 米国については、見込生産を行っているため受注実績はありません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
日本	3,107,320	—
米国	158,843	—
その他	178,802	—
合計	3,444,966	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 主な相手先の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社ウインテック	556,682	41.5	1,220,806	35.4
日本サムスン株式会社	—	—	765,650	22.2

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。